

# ワクチントーク 2005 in 京都

# ご案内

メインテーマ

## 予防接種に行く前に

ことしもやります

**予防接種**

(会場で配布される用紙にご記入ください)

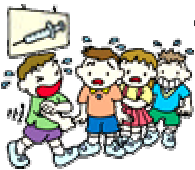
# Q & A

ワクチントーク全国集会 日時 2005年10月1日(土) 会場 キャンパスプラザ京都  
主催 ワクチントーク全国 問い合わせ先 東京事務局 03-3777-1946 担当:青野 予防接種情報センター-京都 0774-21-4533 担当:栗原

【午前の部は、やや専門的な内容ですがどなたもどうぞ】

午前の部 10時~11時50分 (開場9:30)  
会場 第1会議室(2階)

## 知っておきたい 予防接種 の被害



- 司会 田中真介 (栗原 敦)
1. ワクチン禍戦後の歴史 (栗原 敦)
  2. 被害者が語るジフテリア事件の意味 (田井中克人)
  3. ジフテリア事件を考える (山本 繁)
  4. 予防接種改革・連帯を求めて (藤井俊介)
  5. MMR 訴訟からみえたこと (上野・木下・重村)  
(BCG に関する発言 高松 勇)
  6. 予防接種はだれのため? (栗原 敦)
- 質疑応答

【午後の部は予防接種を考え、悩む方ならどなたもどうぞ】

- パネルディスカッション(進行 青野・古賀)  
基調報告 ワクチンの現状は?(古賀真子 日本消費者連盟)  
(コーディネーター 母里啓子 元国立公衆衛生院疫学部感染症室長)  
(コーディネーター 黒部信一 小児科医)
1. MR(麻しん・風しん2種混合)ワクチン (山本英彦 小児科医)
  2. インフルエンザとタミフル (林 敬次 小児科医)
  3. 日本脳炎 (入江紀夫 小児科医)

ディスカッション

休憩

予防接種 Q&A まとめ(田中真介 京大)

ワクチントークの運動は、親・医者・行政担当者・教師・予防接種被害者、その他だれでも参加でき、病気や予防接種について共に考え情報を交換し、必要があれば行動していこうと、1990年8月にスタートしました。予防接種や病気についての知識や情報を専門家だけのものとしなくて、みんなで共有していく。また、親も疑問や不安をどんどん口に出していく。そうした中で予防接種行政が変わり、予防接種による事故を少しでも減らして行きたいと願っています。 <http://www.ne.jp/asahi/kr/hr/vtalk/>

資料代 1,000円(参加申込み不要、保育はなし、お子さんの同伴可)

(協賛団体) 全国薬害被害者団体連絡協議会、全国予防接種被害者の会、MMR 被害児を救援する会、カンガルーネット、東京教組養護教員部、医療問題研究会、日本消費者連盟、予防接種情報センター、予防接種情報センター-京都

午後の部 1時30分~4時30分(開場1:15)  
会場 第1講義室(5階)

## ここを ききたい 予防接種

